

第1回 海津市空家等対策協議会 会議録

開催日時	平成29年6月30日(金) 午前 10時00分開会 午前 11時30分閉会
開催場所	海津市役所 西館 1階 大会議室
出席者	<p>委員 松永清彦(会長)、宮脇信幸(副会長)、近藤喜登 安藤美智代、安田忠敬、西脇宣雄</p> <p>アドバイザー 間宮邦治、伊藤健二、吉田一幸、菱田一義</p> <p>事務局 住宅都市計画課 課長 佐野正美、係長 岩田栄子 主査 吉村守男</p>
要旨	<p>会長あいさつ 海津市空家等対策協議会に参加をいただき誠にありがとうございます。市内には、調査の結果488の空家が点在している。現在、国においては利活用の面から全国版の空家バンク制度設計が検討されており、そうなれば海津市の空家がネット上で見られるようになり、興味を持った方がその後移住といったことも期待できる。また、倒壊しそうな空家等については個人財産で対応が難しいこともあるため、皆様のご意見ご指導を賜りながら良い方向にしていければと思っております。</p> <p>議題1 副会長の選任について 副会長の選任は、委員の互選によるが推薦がないため、事務局の提案により宮脇委員となる。</p> <p>議題2 海津市空家等対策計画(案)について (海津市空家等対策計画(案)に沿って説明)</p> <p>委員1 県下でみると海津市の空家等はいくつの方なのか少ない方なのかどうなのでしょう。</p> <p>アドバイザー1 空家の調査がまだ終了していない市町村もあるので県全体ではまだ把握していない状況です。比較するととなると、抽出調査ですが、平成25年度に行われた住宅・土地統計調査になります。海津市の空家率は9.8パーセントで、県内平均の15.2パーセントよりも低く県内では比較的低い方だと思われる。</p>

委員 2

海津市には未登記の建物が多く、今後5年後、10年後所有者のわからない建物が出てくると思われる。そこで、空家等対策計画の中に登記を促す内容を追加できないか。あともう一点、参議院の付帯決議で空家として取り扱う、取り壊す前に敷地の境界の問題を解決することが出ているのでこれも空家等対策計画の中に追加できないか。検討をよろしくお願いします。

事務局

検討させていただきます。

委員 3

市としては、最終的には空家の利活用をして人口減少対策をするといったことになってくると思いますが、例えば、所有者等がはっきりしない空家で火事等があった場合地域住民が被害を受ける可能性もある。個人情報の問題もあるが、自治会等で把握できれば対応できることもあると思う。今後市の空家対策で優先するのは、利活用なのか危険な空家等への対応なのか方向性を聞かせていただきたい。

事務局

まずは、危険な空家について、優先的に指導していきたい。利活用については、地域で利用できるものや、跡地で防犯上役立つものが見いだせれば検討していきたい。

アドバイザー 2

消防署では、火災予防に関し、税務課で所有者を把握し適正管理の文書を発送している。

委員 4

空家については、緊急性があるもの等いろいろあると思いますが、タイムスケジュールのようなものをお示ししてもらえないでしょうか。

事務局

空家の中で不適切な管理の方については、計画的に対応します。特定空家候補の空家への対策については、今後条例等の整備をしていきます。移住定住の部門とも連携しての対応を検討します。

会長

海津市空家等対策計画（案）を説明させていただきましたので、次回以降ご意見等よろしくお願いします。慎重審議をいただきありがとうございました。

次回の会議は8月24日（木）午前10時で決定。